



【ご挨拶】 今年の冬は近年にない大雪となり、先月までは毎日のように雪かきに追われていましたが、月が変わって3月になると急に春めいて気温も高く暖かい日が続き、田畑の雪もみるみる消えてしまいました。そんな折、世界に目をむけるとロシアがウクライナに軍事侵攻して戦争を始めるし、新型コロナの感染はなかなか終息しないし、東日本では地震が起きるし、物価は上がり不穏な社会情勢が続いたままで、気持ち的にはなかなか春の浮かれ気分になれません。でも、3月は卒業の季節。この春ご卒業された皆さん、おめでとうございます。未来への希望を持ち、羽ばたいてください。心からエールを贈ります。

【大山山頂（1,709m）からの日の出】 鳥取県の西部にある伯耆大山（標高1,729m）は中国山地で一番高く、大山隠岐国立公園に指定されており日本百名山にも含まれる人気の高い山です。でも、日本海に面した独立峰で、冬は北西の季節風がモロに当たり、山頂は風が強く積雪も多い山です。ちょっと春めいてきた3月11日、早朝、暗いうちから登り始め、山頂とされる弥山に6時半前に到着。雪に被われた最高点の剣ヶ峰の背後から昇る朝日を拝むことができました。



剣ヶ峰(1,729m)背後より朝焼けの中、ゆっくり太陽が昇ってゆきます。山頂は風が強く、とても寒かったです(3月11日)

【美味しい春をいただきま〜す！食べれる野草さがし】

春のお彼岸は少し天気が悪かったです。その週末、3月19日(土)に公民館の3月度行事「久斗山自然教室 里山の春と食べれる野草さがし」を開催しました。参加者は9名(大人3子ども6)でした。特別講師にNPO法人但馬自然史研究所の本庄研究員に来ていただき、野生動物の頭骨やシカの足の実物を見たり触ったりして興味深いお話を聞きました。それから、野外観察に出かけ、まずは動物の足跡や糞さがし、食べれる野草をさがしました。シカの糞はそこらじゅうに落ちており、イノシシの立派な糞もありました。食べれる野草は今年は雪が多くて芽吹きが遅く、しかも出たものからシカが食べるので少なくそれでもヨモギやアサツキ、ユキノシタなどが見付き、最後に

柵で囲まれた畑に行ってフキノトウを沢山摘むことができました。持ち帰った野草はゴミを選り分け、天ぷらにしました。お昼はおにぎりと揚げたての山菜天ぷら、それに猪汁、鹿肉ジャーキーも加えて、みんなで美味しくいただきました。ずっと小雨が振って生憎の天気でしたが、講師の先生の話も面白く、ちょっと早めの春を楽しく体験しました。

左からアサツキ、ヨモギ、ユキノシタ、フキノトウ、ヤブカンゾウ



【新年度村総会開催】

久斗山区の令和4年度初総会が、3月20日(日)9時より久斗山コミュニティセンターで開催され、地区民35人の出席がありました。令和3年度の事業や決算報告があり、令和4年度の事業計画ではコミュニティセンターのトイレ改修工事の実施が決議されました。村役員の任期がもう1年あるので改選はなく、隣保役だけ交代となります。境区は27日が総会です。



【県道久斗山今岡線、冬期通行止め解除】

冬の間、西の谷の小山への町道分岐から、熊谷の善住寺の上まで、雪で通行止だった県道久斗山今岡線が3月14日に解除され、通行できるようになりました。



まだ日陰の路肩には雪が残っていますが、土砂や倒木なども撤去され、道路パトロールが毎日管理しているため、問題無く通ることが出来ます。でも夜はシカが出没し、落石などがあるので気をつけましょう。

【ただ今かき餅乾燥中！久斗山農産加工組合】

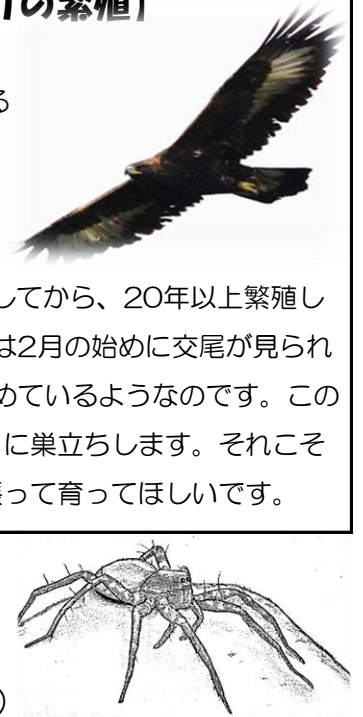
今年も色とりどりのかき餅の縄暖簾が体育館にお目見えしました。昨年より少し遅く、数も少ないようですが、豆やエゴマ、赤や黄色



といった5~6種類の短冊状にカットされたかき餅が、藁で連ねて干されています。町内でかき餅の製造は、上山高原エコミュージアムや春來でも行なわれていますが、近年のレトロブームでどこも大人気だそうです。久斗山のかき餅は浜坂の道の駅などで販売されます。

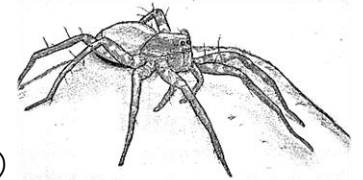
【扇ノ山のイヌワシ、23年ぶりの繁殖】

イヌワシという鳥をご存知でしょうか？ 鷲鷹の仲間で、羽根を広げると2mにもなる大型の鳥です。国の天然記念物に指定されており、兵庫県下では2つがいしか生息していません。その1つがいが岸田川の源流に生息しています。1999年に雛が巣立ちしてから、20年以上繁殖していませんでした。そのイヌワシが、今年は2月の始めに交尾が見られ現在はどうやら産卵して、巣の中で卵を温めているようなのです。このまま順調にいけば4月には雛が誕生し、6月に巣立ちします。それこそ23年ぶりの繁殖となります。なんとか頑張って育てたいです。



○令和4年 4月の行事

- 3日(日) 「扇ノ山残雪登山」(7:10~ 加藤文太郎山の会)
- 8日(金) 町内小学校・中学校 入学式
- 16日(土) 「上山高原山開き・山焼き」(9:10~15:00 上山高原エコミュージアム)
- 17日(日) 「新緑の里山生き物観察とお花見(本谷、創造の森)」(9:00~13:00 久斗山地区公民館)
- 17日(日) 「クリーン但馬10万人大作戦」



火おこし体験からのたき火と木の枝スプーン作り

ファイヤーライターを含めた3種類、舞切り式、火打式の火起こしからたき火を楽しみましょう！お気に入りの枝から世界に一つだけのスプーンを作ります。

- 日時: 令和4年4月29日(金・祝)10時~15時
- 集合場所: 兎和野高原野外教育センター
- 定員: 15組/30名 ○参加費: 500円
- 持ち物

お弁当・水筒・帽子・タオル・軍手・シート
自分専用の小刀

- ・コロナの感染対策を徹底します。
- ・マスク着用、手の消毒、熱が37.5℃以下
- 【問合せ・参加申込み】

兵庫県 木の殿堂
美方郡香美町村岡区和池951
TEL0796-86-1388 メールkinodendo@gmail.com
ホームページURL:www.kinodendo.jp



キブシの花。
淡い黄色をした粒状の小さな花が連なって咲く。

山沿いの斜面などに自生する低木。細くてしなやかに長い枝先に、早春になると、かんざし飾りのように幾筋も下がった柄に、粒状の花を連ねて咲かせます。花の色は淡い黄色で4枚の花びらがあり、雄花と雌花は別々です。花が終わると、やがて丸い実がつきます。実はタンニンを含ま、昔はお歯黒の代用にしたとか。

今月の野草(樹木) キブシ

かかってに昔話 節分の夜の怪(第三話) 作、いっこう

大輔は噂話に気がかり、もつと詳しく聞きたいと思つた。隣村の宇作に会いに行きよつた。そして、噂は本当の事だつた。じゃ、話を聞いた大輔は、宇作みたいに冬の神様の宝物を拾つて、大金持ちになりたいと思つた。そこで冬が来る前に、ある大仕事をしたんじや。

それは、馬の引張る荷車にどっからか大きな石を乗せてきて、大川の中にドブン、ドブンと幾つも投げ入れよつた。やがて、川の水はそこだけ堰ができたみたいになつて、大きく盛り上がるようになった。

さて、季節は冬になり、その年は近頃になく大雪でも寒かつた。それでも節分が近づくと、日差しに春の気配を感じるようになった。

いよいよ節分の夜、空気はギンギンに冷え込んで、滝も川もあらゆる物が凍てついた。朝方、氷の道になった川面を冬の神さんの乗ったソリが疾風のように走りぬけた。そして、大輔が作つた川の盛り上がり、大輔が作つた川とひととき大きく跳ね上がりおつた。その時、後荷から一つ大きな袋が転げ落ちた。ソリはそんなこと気にせず、あつという間に通り過ぎて行った。さあ、その夜、凍えながら川の傍らで寝ずの番をしていた大輔は、じめた！

これで大金持ちや！と意気込み、さっそく袋を拾い上げると、重い袋を意気揚々と荷車に乗せて持ち帰り、朝、袋を開いたんじや。さて、その中身は……大雪で身動きが取れなくなつて餓死した鹿や猪の死骸が入つておつた。(おわり)